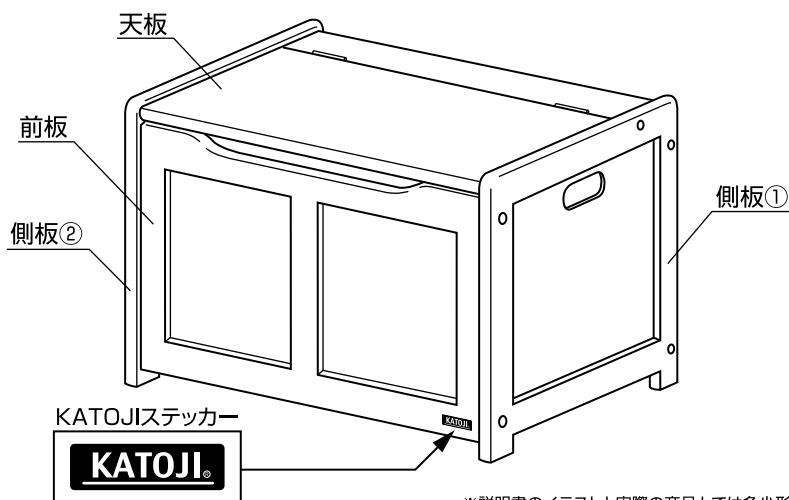


使用する前に必ず説明書をお読み下さい。読んだ後は大切に保管して下さい。

⚠ 使用上の注意

- ◆用途(ベンチボックス)以外に使用しないで下さい。
 - ◆ベンチボックス(天板)の耐荷重は約60kgです。
 - ◆保護者の方が組立てを行って下さい。
 - ◆水平、平たんでスツープ等の危険物のない安全な場所で使用して下さい。
 - ◆階段や縁側等の近くでは使用しないで下さい。
 - ◆お子様が天板の上で立ったり、暴れたり、遊んだりしないように注意して下さい。
 - ◆本体にお子様を座らせたまま本体を持ち上げたり、移動したりしないで下さい。
 - ◆天板を開閉する時に手や指等を挟む恐れがありますので十分にご注意下さい。
 - ◆本体に物を入れすぎないように注意して下さい。
 - ◆破損する恐れがありますので、天板を開きすぎないように注意して下さい。
 - ◆各部分に緩みがないことを確認してから使用して下さい。もしも、緩んでいる部分がありましたら必ず組立ボルト、プラスネジを確実に締め直してからご使用下さい。
 - ◆本体に直射日光又は熱が当たらないように注意して下さい。
 - ◆本体を長時間、湿気の多い場所に放置しないで下さい。
 - ◆本体は乾燥している場所に置いて下さい。
 - ◆本体に付属している梱包材(ビニール袋等)は窒息等の事故につながる恐れがありますので、お子様の手の届かない場所に保管するか廃棄するようにして下さい。
 - ◆万が一、本体に破損、故障があった場合にはご使用にならないで下さい。
 - ◆フローリング等でのご使用は床に傷が付く恐れがありますので注意下さい。
 - ◆本品は木材を使用しているため温度、湿度の変化や使用、保管状況等により木材が変化、劣化することがあります。
- 〈お手入れ方法〉
- ◇木製部分の汚れは水で湿らせたタオル等で軽く拭いた後、乾いたタオル等で水分を完全に拭き取って下さい。
 - ◇研磨剤、溶剤(ベンジン、シンナー等)は決して使用しないで下さい。
 - ◇定期的に部品が壊れていないか点検して下さい。

各部の名称



※説明書のイラストと実際の商品とでは多少形状が異なる場合があります。

※お気付きの点がございましたら下記までお問合せ下さい。

修理・廃棄
について

- ◇製品の修理についてはお客様が直接修理に携わることはしないで下記にお問合せ下さい。
- ◇製品の廃棄については各地方自治体の処分方法に従って下さい。

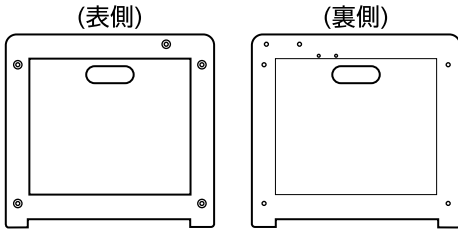
発売元 **株式会社カトージ**

生産物賠償責任(PL)保険付

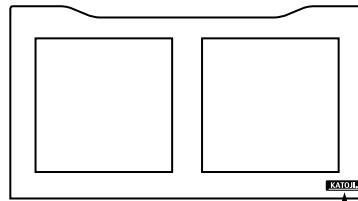
〒484-0894 愛知県犬山市羽黒北金屋39-2
TEL. 0568-67-5701 FAX. 0568-67-8322
受付時間 AM10:00~PM5:00(土日、祝祭日を除く)

使用部品

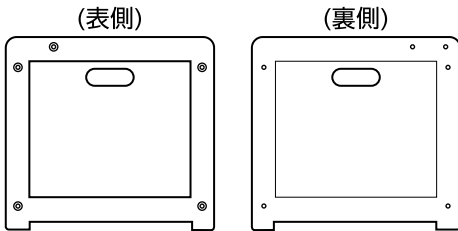
※プラスドライバーを用意して下さい。



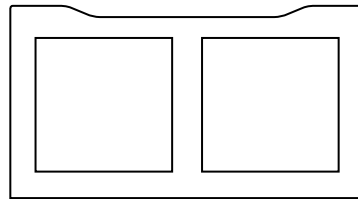
側板①×1個



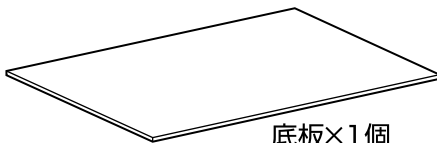
前板×1個
(KATOJIステッカー付)



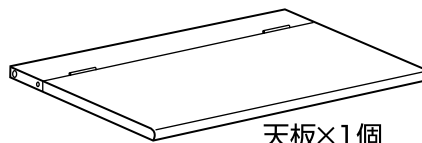
側板②×1個



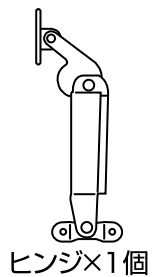
背板×1個



底板×1個

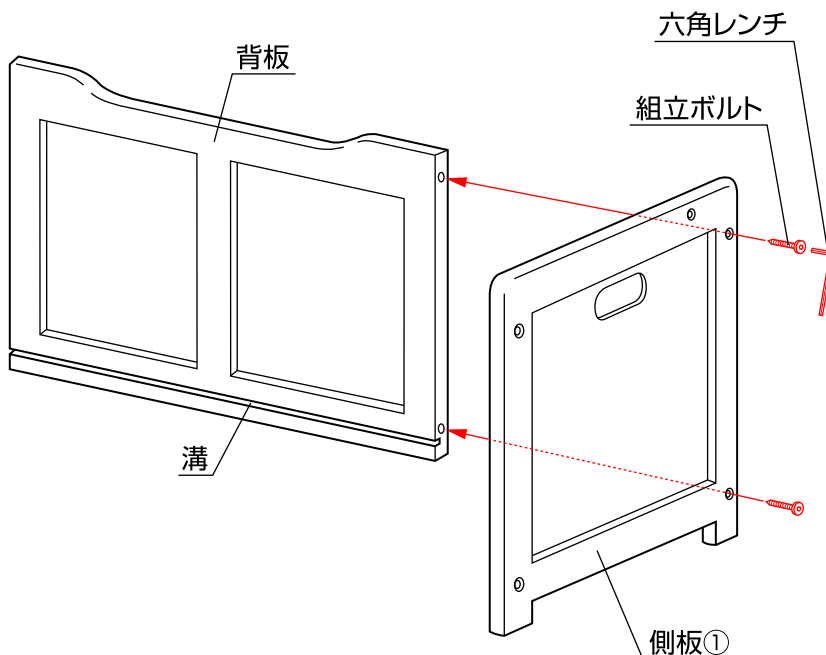


天板×1個

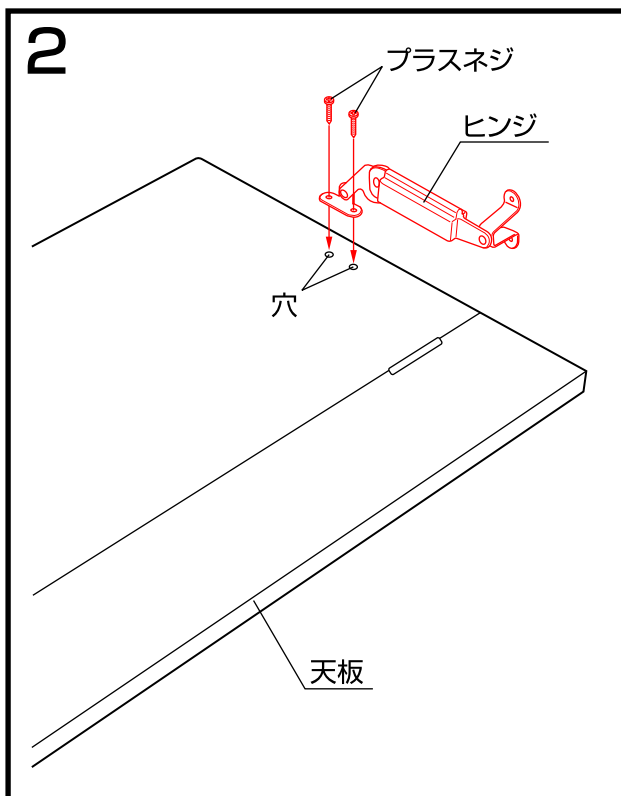


組立方法

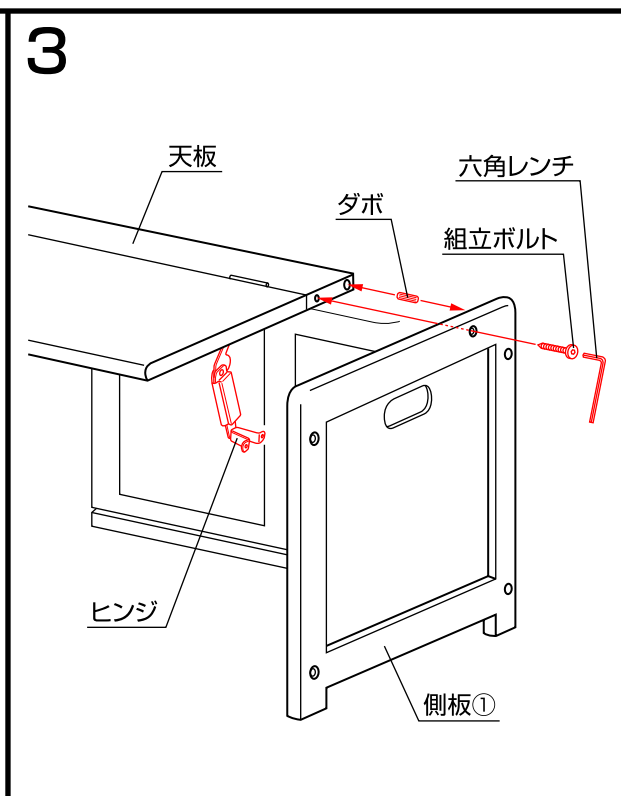
1



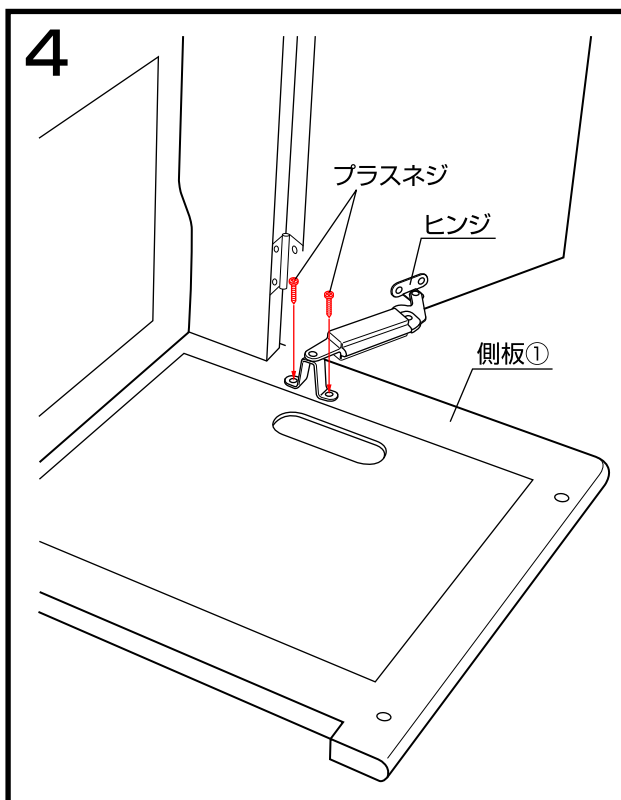
1.側板①と背板を組立ボルトで取り付けて下さい。組立ボルトは六角レンチで締め付けて下さい。
※側板①と背板の向きに注意して下さい。



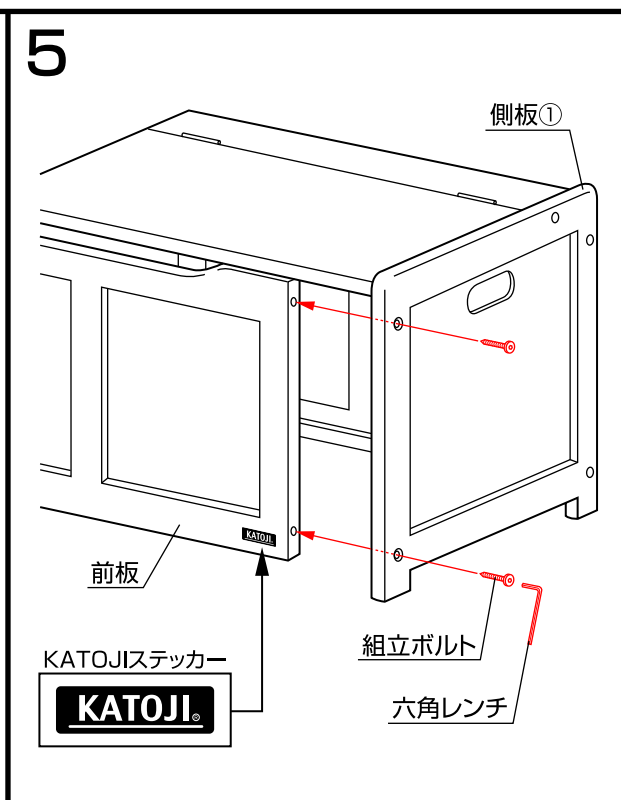
2.天板の裏側の穴にヒンジをプラスチックで図のように取り付けて下さい。プラスチックはプラスチックドライバーで締め付けて下さい。**※ヒンジの向きに注意して下さい。**



3.天板を側板①にダボと組立ボルトで取り付けて下さい。天板はヒンジが付いている面を下側にして下さい。

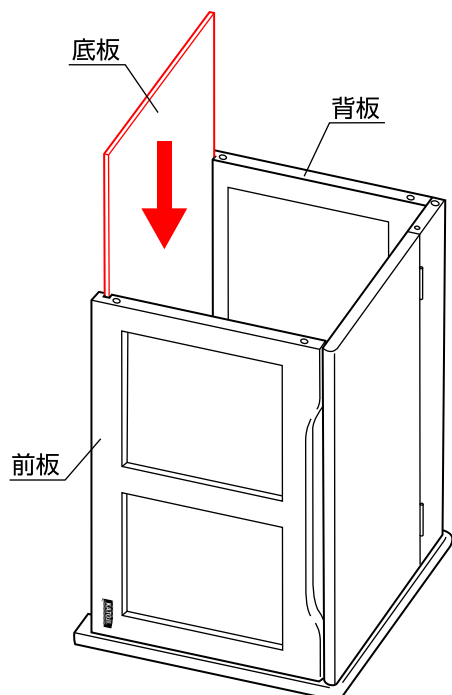


4.本体の向きを縦に変えて下さい。
ヒンジを側板①にプラスチックで取り付けて下さい。
プラスチックはプラスチックドライバーで締め付けて下さい。



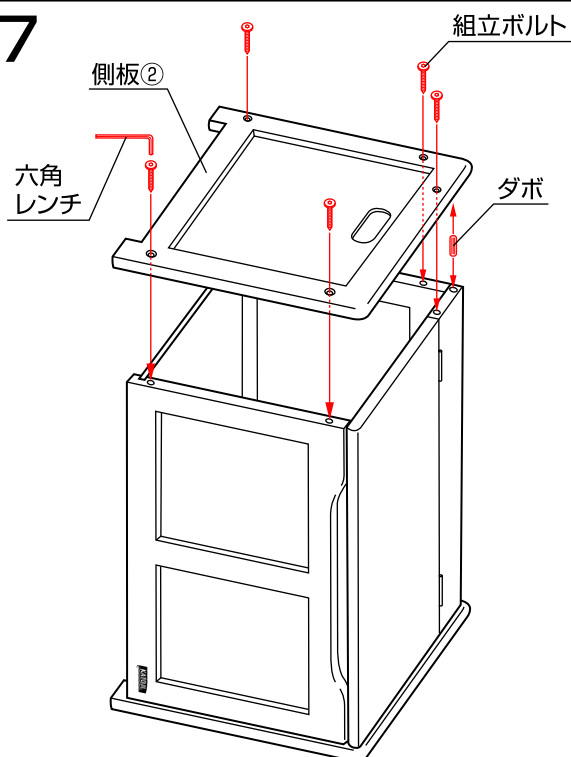
5.本体の向きを横に戻して下さい。前板を側板①に組立ボルトで取り付けて下さい。

6



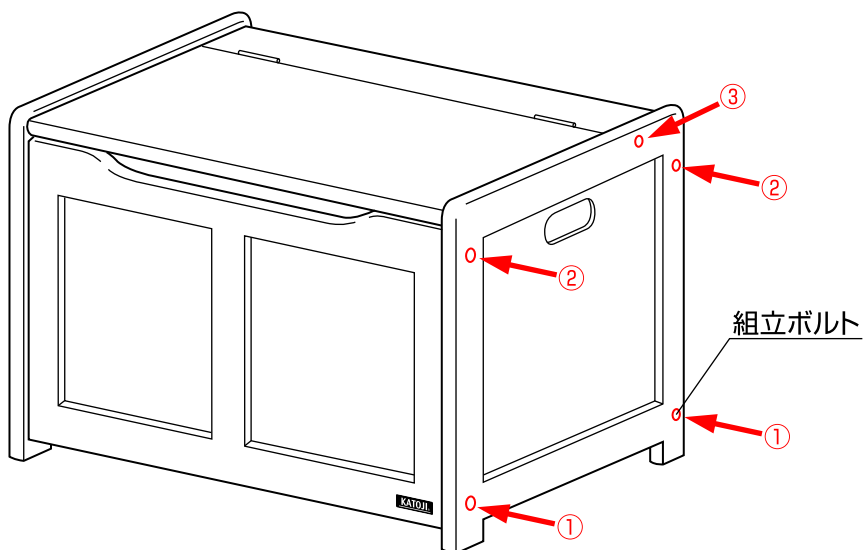
6. 本体の向きを再度縦に変えて下さい。底板を前板と背板の溝に差し込んで下さい。

7



7. 側板②を組立ボルトとダボで取り付けして下さい。
※全てのボルトが確実に締め付けられていることを必ず確認して下さい。

お客様へ



◇お客様へ：使用する場所によって本体ががたつく場合がありますので、その場合には両側の組立ボルトを緩め、下側から順に締め直して下さい。(①→②→③)※必ず両側共行って下さい。※全てのボルトが確実に締め付けられていることを必ず確認して下さい。